# 令和４年度第１１回沼田市教育委員会会議録

１　期日

令和４年１２月２３日（金）

２　場所

テラス沼田庁議室

３　出席者

竹之内篤教育長、髙橋昭紀委員、中村春夫委員、永井和恵委員、武藤英子委員

４　沼田市教育委員会会議規則第１９条第３号による出席者

北澤昇教育部長、横山隆一教育総務課長、角田巧学校教育課長、小野利明生涯学習課長、角田浩文化財保護課長、永井高士スポーツ振興課スポーツ振興係長、川端正志教育総務課長補佐

５　開会宣言（午後１時３０分）

６　日程第１　会議録の承認

原案のとおり承認

７　日程第２　会期の決定

会期は、１２月２３日の一日と決定

８　日程第３　会議録署名委員の指名

教育長が中村春夫委員を指名

９　日程第４　教育長報告

（教育長）
３年ぶりに行動制限のない年末年始になるという報道が流れているが、新型コロナウイルス感染症の第８波により、利根沼田地区においても感染者が増えている状況である。学校生活や行事等の実施にも、予断を許さない状況が続いているが、本日、各幼稚園及び小中学校において二学期の終業式を迎えることができた。教育委員の皆さんには、二学期においても、沼田市の教育の充実に向けてご尽力いただき感謝申し上げる。
本日は二点、報告したい。

一点目は、１２月議会について

・５人の議員から次の１４項目について一般質問があった。特別支援教育の充実のための取組について、不登校児童・生徒への支援等の充実について、教育水準向上研究の具現化を目指した教師の資質向上について、校則や部活動などで主体的な活動の実現に向けた取組について、市営陸上競技場のタータントラックへの変更について、サッカー専用グラウンドの新設について、市民プールの管理運営について、市民プールの売店の再開について、算数セットなどを学校備品として購入することについて、制服やランドセルなどのリユースについて、スマホ・パソコン等を活用した生涯学習支援について、外国語教育の現状について、英語以外の語学教育について、幼児期の語学教育について、であった。ご指摘をいただいたことについては、今後、研究・検討させていただき、本市の教育行政の充実に努めていきたいと考えている。

二点目は、１２月の定例校長会の指示伝達について報告したい。

・教育課程の管理に関わり、量的な管理で、教育課程の実施状況と今後の見通しを点検すること。質的な管理で、学習内容が児童・生徒に定着しているかという視点で、過程と結果をよく点検すること。

・服務規律の確保に関わり、教育公務員として高い倫理観を持つための研修等を引き続き充実させること。年末、学期末に向けて、交通事故・違反の防止、個人情報の管理、通知表や入試に関わる書類の作成・点検を徹底すること。

・人事管理に関わり、人事に関する情報の迅速な伝達と、計画的・意図的に職員を育てること。

（教育部長）

なし

（学校教育課長）

・ふるさとぬまた未来創造奨学金奨学生の内定について

・民間施設を利用した「水泳運動」指導の試行の概要報告について

（髙橋委員）

民間施設を利用した「水泳運動」指導について、成果と課題については、効果があったということで良かったと思う。費用について、学校のプールは修繕費などの維持費がかかると思うが、金額的に比較した場合はどうか。

（学校教育課長）

費用の面では、プールの維持管理、補修等を考えた場合、民間施設に依頼した方が安く実施できると思う。

（教育部長）

昨年度実施した沼田北小や今年度から始めた多那小中、池田小については、プール設備が非常に傷んでおり、改修には数百から数千万円の投資が必要となってしまう状況があるので、そういった観点から実施している。毎年のランニングコストだけならば、学校のプールを使用した方が安い面もあるかもしれないが、総体的に考えてこのような対応をしている。

10　日程第５　議案第１４号　招致外国青年の勤務に関する取扱要綱の一部を改正する告示について

議事の大要
定年引き上げに伴う地方公務員法の一部を改正する法律の施行等を踏まえ、招致外国青年の勤務に関する取扱要綱の一部改正について議決を求めるもの

学校教育課長が議案書添付資料により説明

異議なく原案のとおり決定

11　日程第６　議案第１５号　沼田市社会教育委員の委嘱について

議事の大要
欠員の生じた沼田市社会教育委員について、後任の委員の委嘱について議決を求めるもの

生涯学習課長が議案書添付資料により説明

異議なく原案のとおり決定

12　閉会宣言（午後２時０８分）